



内閣総理大臣表彰
ものづくり日本大賞

第6回ものづくり日本大賞 【内閣総理大臣賞】

福島県立郡山北工業高等学校 コンピュータ部

ROBO Production Project Team

～ 技への飽くなき挑戦 ものづくりの文化へ ～

《ものづくり日本大賞》

内閣総理大臣表彰「ものづくり日本大賞」は、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省の4省で組織され、日本の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきたものづくりを着実に継承し、さらに発展させていくため、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や、伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、ものづくりの第一線で活躍する各世代のうち、特に優秀と認められる者を2年に1回、顕彰する制度である。



ものづくり日本大賞の受賞メダル

《コンピュータ部の活動実績》

2014年7月19日から21日に「マイクロ・ナノテクノロジーの防災・減災への応用等」のテーマで宮城県仙台市で開催された、MEMS (Micro Electro Mechanical Systems) デバイスを使ったシステムやアイデアを競う第5回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテストにおいて、東日本大震災の教訓を生かし、3種類のMEMSデバイスとタブレットを搭載した、家族の安全を守る多機能型ホームセキュリティロボット「Pro ROBO」を開発・製作し、大学院生を含む、10ヶ国23チームが参加する中、**高校生チームとして世界初の「First Prize」(1位)**を受賞した。



ROBO Production Project Team

国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト

International Contest of Applications in Nano/Micro Technologies (iCAN)

平成24年(2012年): 中国北京…「Best Contribution」(敢闘賞)

平成25年(2013年): スペインバルセロナ…「Second Prize」(2位)

平成26年(2014年): 宮城県仙台市…「First Prize」(1位)

平成27年(2015年): 米国アラスカ州アンカレッジ…「Third Prize」(3位)

「Pro ROBO」の実用化・製品化を意識して開発した「Shadow」を出品

2012年から参加し、3年連続で国内予選1位、4年連続で世界大会に出場

《内閣総理大臣賞 受賞》

これらの継続的な活動実績により、平成27年度 第6回ものづくり日本大賞「ものづくりの将来を担う高度な技術・技能分野」青少年部門において、最高賞である、内閣総理大臣賞を受賞した。

表彰式は、2015年11月9日(月)に首相官邸にて行われ、代表の渡邊和樹(情報技術科3年)に安倍晋三内閣総理大臣より賞状が授与された。



ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞 表彰式 及び 祝賀会

【関連資料は、<http://robopro001.wix.com/prorobo> でご覧になれます。】

SEMICON
Japan 2015